

テクノス通信 VOL. 17 Oct.2010



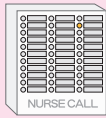
「どんな看護環境にどの報知方法が合いますか？」

離床センサーが普及する中、様々な看護環境やニーズに応じた製品が発売されます。しかし、種類が多いことでかえって、現場にぴったりの報知方法を見つけるのは困難になっていないでしょうか。テクノスジャパンでも大きく分けて、ナースコール連動タイプ/専用受信器(で報知する)タイプの2種類をラインアップしていますが、その中でもいくつかのタイプに分かれています。今回は、報知方法の種類とその活用現場をご紹介しますので、ぜひ参考になさってください。

■報知方法とその特長

ナースコール

●コードレスタイプ：センサーに全くコードが無い『コードレスセンサー』がナースコールでお知らせします。



ナースコール

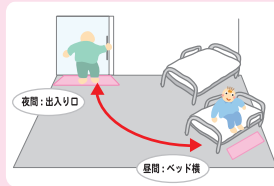


センサーが作動すると、ナースコールでお知らせします。既存のナースコール設備をお使い頂け、院内PHSにも連動します。

特長

- ・コードで足を引っ掛ける心配がありません。
- ・コードの断線事故がありません。
- ・コードによってセンサーに気付かれ、センサーを避けるなどといったことが起こりにくくなります。
- ・設置・増設が簡単にできます。

活用例



頻繁に容態が変わる対象者に合わせて、また、昼夜でセンサーを移動させることも簡単です。

1台の無線中継ボックスに5台までセンサーが登録可能なので、1人の対象者に複数台設置する際など、ベッド周りに部材が増えることもなく、また、管理もしやすくなります。



例: タッチコールとコールマットの併用

●ケーブルタイプ：ケーブルタイプのセンサーがナースコールでお知らせします。

特長

- ・コードレスタイプに比べお求めやすい価格のため、大量導入の際に便利です。
- ・分岐ボックスで増設してもケーブルを増やさず運用ができます。

活用例



*ただし、利用者に気付かれないように、コードはベッドの下をくぐらせるなど、配線整理をおすすめします。

専用受信器 (3タイプ)

●ハイパーシリーズ：ケーブルタイプのセンサーが専用受信器でお知らせします。

ポータブル2受信器 (携帯タイプ: 腕時計型)



- 持ち運び可能
- パイプか音で報知
- 液晶で8台まで識別可能

ハンディ受信器 (携帯タイプ: PHS型)



- 持ち運び可能
- パイプとメロディで報知
- 液晶とメロディで8台まで識別可能
- 各チャンネルに10種類よりメロディ設定が可能

ハイパー受信器 (固定タイプ)



- 据え置きタイプ
- ランプとメロディで報知
- ランプとメロディで8台まで識別可能
- 各チャンネルのメロディは固定制

特長

- ・ナースコール設備がない場所でも使えます。
- ・ナースコールとセンサー報知音を区別できます。
- ・受信器を昼夜、スタッフ数などによって、使い分けすることができます。
- ・センサーはそれぞれ8台まで増設が可能ですので、1台の受信器で複数の患者様を見ることができます。

活用例



ステーションでより多くのスタッフで報知を知ることができます。メロディで識別できるため、受信器を見なくてもどの対象者のセンサーが報知しているのかが分かります。(注: ポータブル2にはメロディ設定はありません)

受信を受けたその場で、どの対象者のセンサーが報知したか確認できます!

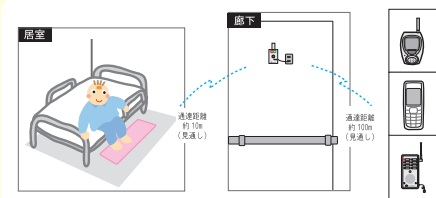


●Nシリーズ：センサーに全くケーブルがない『コードレスセンサー』が専用受信器でお知らせします。

特長

- ・ナースコール設備がない場所で、センサーに全くコードがない『コードレスセンサー』(計4種類)が使えます。
- ・ナースコール音とセンサー報知音を区別できます。
- ・従来ナースコール連動タイプでお使いのコードレスセンサーが流用できます。

活用例



コードレスセンサーからハイパー中継ボックスを通じて、各受信器に報知します。ハイパー中継ボックスを廊下等に設置すると、居室内にはコードが無くならないので、精神科病棟などでお使い頂けます。

精神科病棟に！ハイパーマットシリーズ

特長

マットに内蔵した送信器で各専用受信器に報知するので、居室内に全くケーブルが無い状態でセンサーがお使いいただけます。



ここに送信器が内蔵されています

ちょっとポイント!

昼間はステーションでより多くのスタッフが気付くように固定タイプ、夜間はスタッフ数が少ない中での巡回中などに、携帯タイプなど、使い分けや、両タイプの併用も可能です!



ちょっとポイント!

報知方法と併せて、対象者に合ったセンサーを選定することも大切です。テクノスジャパンでは9種類のセンサーをご用意していますので、より患者様の容態に合ったセンサーをお選び下さい! センサー選定基準はこちらから→URL:http://technosjapan.jp/technos_tsu_shin/pdf/vol15.pdf